

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト
現地からのお便り（2021年7月～2022年6月）

2022年8月
コンサベーション・インターナショナル



カルダモン山地の風景© Conservation International/photo by David Emmett

パトロールと違法行為への対応

中央カルダモン山地国立公園では、プロジェクトで体制強化や能力向上に取り組んできたレンジャー達による森林パトロールが継続しています。他の民間企業からの支援も加わり、中央カルダモン山地をカバーする6つのレンジャーステーションに所属するレンジャー30名を対象に、森林パトロールに必要な燃料や備品、各種手当の補填が行われました。

2020年7月から2021年6月にかけてパトロールは計617回実施され、延べ38,002kmをカバーしました。パトロールの結果、違法行為者9名の特定（状況に応じて法的対処の手続きが行われます）、チェーンソー162台と銃19丁の没収、1,573個の密猟用トラップの除去、加えて違法行為のための野営地を多数使えないようにしました。



パトロールの様子（左）、押収したブッシュミート（右） © Cambodian Ministry of Environment



押収されたチェーンソー（左）と密猟用のトラップ（右） © Cambodian Ministry of Environment

REDD+プロジェクトの立ち上げ

中央カルダモン山地国立公園で REDD+プロジェクト形成にかかる手続きが始まりました。まず、環境省や州環境局が中心となり、REDD+プロジェクト設計に必要となる地域コミュニティを対象とした事業説明および FPIC (Free Prior Informed Consent)¹と呼ばれるプロセス、森林インベントリ調査、生物多様性ベースライン調査などを行いました。この REDD+事業は 24 の村が対象となり、現時点 FPIC のプロセスは 8 割程度完了しており、2023 年中旬までにはプロジェクトの validation（妥当性確認）と varification（検証）まで進む見込みです。

¹ FPIC は「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」を指します。森林開発や保全の場面で大きな課題となる土地利用をめぐる権利と密接に関係する考え方で、カンボジアでは対象コミュニティの 50%以上の同意を得ることが慣習となっています。



Grievance Mechanism（苦情処理メカニズム）へ対応した意見箱（左）と
コミュニティへの説明の様子（右） © Conservation International



FPIC (Free Prior Informed Consent)のプロセスで、対象コミュニティへ説明を行う様子
© Conservation International

トラストファンド

昨年度はトラストファンドの資金は活用せず、利息分も運用に回すことで将来的な資金源の確保に努めています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。